



### ◆原稿募集◆

次号の締め切りは、2月28日です

コウノトリは会員の皆さんで作る機関誌です。たくさんの原稿をお待ちしています。1000字程度の「鳥との出会い」をはじめ、この「みんなのひろば」のような皆さんの身のまわりの出来事・紀行文・自然保護に関する主張等、400字程度にまとめていただければ幸いです。鳥信、カット、写真も大歓迎です。

原稿は手書き、ワープロ、電子メール、何でも結構です。電子メールのアドレスは、下記のとおりです。（裏表紙のアドレスには投稿しないで下さい。）

[hensyuu@mbp.nifty.com](mailto:hensyuu@mbp.nifty.com)

## エコ・ウォーク &メッセ加古川に出展

普及グループ 山本幸二

昨年11月15日（日）に加古川河川敷にて「加古川の魅力をにふれよう！」との合言葉でエコ・ウォーク&メッセ加古川が東播磨流域文化協議会の主催で開催されました。兵庫県支部でも加古川を楽しみながら学んで頂こうと望遠鏡による野鳥観察会と野鳥写真の展示、野鳥資料の配布等を行いました。

当日は加古川ツーデーマーチが同時開催されており約4000人の参加者が加古川の自然に触れ合い、望遠鏡でみるアオサギやカワセミに歓声をあげていました。会場には、いなみ野ため池ミュージアム運営協議会や播磨ウェットランドリサーチ、三木自然愛好会、加古川の里ギフチョウネット、ひょうご森の倶楽部などの自然保護団体をはじめ多くの団体、企業が参加し盛況でした。



## シロエリオオハムさんへの手紙

神戸市垂水区 大須賀 詩織（10才）

シロエリオオハムさんへ

あなたは今朝、海岸の波打ちぎわで、砂まみれになって、油がむねやわきにベタベタについて、死んでいました。油がついて水がしみこんできて、あなたはどんなに寒かったでしょう。

油はもともと海にあったものではありません



ん。毎日たくさんの船がここを通ります。時々、船と船がぶつかって油がもれたりもします。まちがって油がこぼれたりもします。海に油がもれると、鳥さんたちにめいわくですね。だけど、私たち人間は、船が運ぶたくさんの貨物や石油やガスがなくては、生きていけません。

シロエリオオハムさん、私たち人間のせいで、あなたの命をぎせいにしてしまいました。私はあなたが死んでしまったことを決して忘れません。今朝は日の出が真っ赤で特別にきれいでした。この日の出を見ないで死んでしまったかわいそうなシロエリオオハムさん、本当にごめんなさい。

詩織より

(写真ではわかりにくいですが、のどの黒い線と次列風切羽の先が白いのでシロエリオオハムだとわかりました。)

## 神戸市の北端にある淡河小学校で 子どもたちと野鳥を見てきました

12月22日(火) 天候晴れ

天気もよく、空気もきれいで野鳥たちも美しく新鮮！市街地でみる野鳥とはちがうなと感動しました。子どもたちも元気で、いきいき！でした。先生から下記のおたよりと写真をいただきました。(福原)

淡河小学校3年担任 志水 美穂

今日は遠いところ、また寒い中、お越しいただきましてありがとうございました。18種類もの野鳥を観察することができ、子どもたちも大満足してありました。

ダイサギが冬場と夏場とでは、口ばしが違うことなどにとても驚いたようです。図鑑の中でしか見たことないカワセミに出会えたことも、喜んでいました。

日頃何気なく過ごしている淡河の町に、こんなにたくさん野鳥が住んでいることに気がつき、淡河の町を見直すきっかけにもなりそうです。野鳥や淡河の自然をみる目が、変わりそうです。

皆様にもよろしくお伝えください。ありがとうございました。

### ●出会えた野鳥(18種)

カワウ、ダイサギ、アオサギ、コガモ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ホオジロ、ジョウビタキ、ツグミ、カワラヒワ、シメ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス



私のスケッチブックから 絵

■アカゲラ

名越正男

NAGOSHI MASAO

